

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】平成 19 年 9 月 13 日 (2007.9.13)

【公開番号】特開 2006-44582 (P2006-44582A)

【公開日】平成 18 年 2 月 16 日 (2006.2.16)

【年通号数】公開・登録公報 2006-007

【出願番号】特願 2004-231393 (P2004-231393)

【国際特許分類】

B 6 0 W 10/04 (2006.01)

B 6 0 W 10/10 (2006.01)

B 6 0 K 6/04 (2006.01)

B 6 0 W 10/06 (2006.01)

B 6 0 W 20/00 (2006.01)

B 6 0 W 10/08 (2006.01)

B 6 0 L 11/14 (2006.01)

F 0 2 D 13/08 (2006.01)

F 0 2 D 15/00 (2006.01)

F 0 2 D 17/00 (2006.01)

F 0 2 D 17/02 (2006.01)

F 0 2 D 29/00 (2006.01)

F 0 2 D 29/02 (2006.01)

F 0 2 D 45/00 (2006.01)

F 1 6 H 3/72 (2006.01)

F 1 6 H 61/00 (2006.01)

F 1 6 H 59/74 (2006.01)

F 1 6 H 61/686 (2006.01)

【F I】

B 6 0 K 41/04

B 6 0 K 6/04 1 5 1

B 6 0 K 6/04 3 1 0

B 6 0 K 6/04 3 2 0

B 6 0 K 6/04 3 5 0

B 6 0 K 6/04 5 5 3

B 6 0 K 6/04 7 3 3

B 6 0 K 41/00 3 0 1 A

B 6 0 K 41/00 3 0 1 B

B 6 0 K 41/00 3 0 1 D

B 6 0 L 11/14

F 0 2 D 13/08 A

F 0 2 D 15/00 A

F 0 2 D 17/00 B

F 0 2 D 17/00 H

F 0 2 D 17/02 M

F 0 2 D 29/00 H

F 0 2 D 29/02 D

F 0 2 D 29/02 3 4 1

F 0 2 D 45/00 3 1 2 F

F 1 6 H 3/72 A

F 1 6 H 61/00 Z H V

F 1 6 H 59:74

F 1 6 H 103:12

【手続補正書】

【提出日】平成19年7月30日(2007.7.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

筒内圧力変化抑制気筒数可変エンジンの出力を第1電動機および伝達部材へ分配する差動機構と、駆動輪に動力伝達可能とされた第2電動機とを有して電氣的な無段変速機として作動可能な無段変速部を備えた車両用駆動装置の制御装置であって、

前記差動機構に備えられ、前記無段変速部を電氣的な無段変速作動可能な無段変速状態と該電氣的な無段変速作動しない有段変速状態とに選択的に切り換えるための係合装置と

車両の回生時に前記無段変速部が無段変速状態と有段変速状態との何れに切り換えられているかに基づいて、前記筒内圧力変化抑制気筒数可変エンジンにおける筒内圧力変化抑制状態を制御する回生時筒内圧力変化抑制状態制御手段と

を、含むことを特徴とする車両用駆動装置の制御装置。

【請求項2】

前記回生時筒内圧力変化抑制状態制御手段は、前記無段変速部が有段変速状態に切り換えられているときには、前記筒内圧力変化抑制気筒数可変エンジンの筒内圧力変化抑制運転を実行するものである請求項1の車両用駆動装置の制御装置。

【請求項3】

前記回生時筒内圧力変化抑制状態制御手段は、前記無段変速部が無段変速状態に切り換えられているときには、前記筒内圧力変化抑制気筒数可変エンジンを作動停止状態とすると共に前記第1電動機を空転させて該筒内圧力変化抑制気筒数可変エンジンの回転速度を零乃至略零に回転制御するものである請求項1または2の車両用駆動装置の制御装置。

【請求項4】

筒内圧力変化抑制気筒数可変エンジンの出力を第1電動機および伝達部材へ分配する差動機構と、駆動輪に動力伝達可能とされた第2電動機とを備えた車両用駆動装置の制御装置であって、

前記差動機構に備えられ、該差動機構を差動作用が働く差動状態と該差動作用をしないロック状態とに選択的に切り換えるための係合装置と、

車両の回生時に前記差動機構が差動状態とロック状態との何れに切り換えられているかに基づいて、前記筒内圧力変化抑制気筒数可変エンジンにおける筒内圧力変化抑制状態を制御する回生時筒内圧力変化抑制状態制御手段と

を、含むことを特徴とする車両用駆動装置の制御装置。

【請求項5】

前記回生時筒内圧力変化抑制状態制御手段は、前記差動機構がロック状態に切り換えられているときには、前記筒内圧力変化抑制気筒数可変エンジンの筒内圧力変化抑制運転を実行するものである請求項4の車両用駆動装置の制御装置。

【請求項6】

前記回生時筒内圧力変化抑制状態制御手段は、前記差動機構が差動状態に切り換えられているときには、前記筒内圧力変化抑制気筒数可変エンジンを作動停止状態とすると共に前記第1電動機を空転させて該筒内圧力変化抑制気筒数可変エンジンの回転速度を零乃至略零に回転制御するものである請求項4または5の車両用駆動装置の制御装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

すなわち、請求項 1 にかかる発明の要旨とするところは、筒内圧力変化抑制気筒数可変エンジンの出力を第 1 電動機および伝達部材へ分配する差動機構と、駆動輪に動力伝達可能とされた第 2 電動機とを有して電氣的な無段変速機として作動可能な無段変速部を備えた車両用駆動装置の制御装置であって、(a) 前記差動機構に備えられ、前記無段変速部を電氣的な無段変速作動可能な無段変速状態と該電氣的な無段変速作動しない有段変速状態とに選択的に切り換えるための係合装置と、(b) 車両の回生時に前記無段変速部が無段変速状態と有段変速状態との何れに切り換えられているかに基づいて、前記筒内圧力変化抑制気筒数可変エンジンにおける筒内圧力変化抑制状態を制御する回生時筒内圧力変化抑制状態制御手段とを、含むことにある。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

また、請求項 4 にかかる発明の要旨とするところは、筒内圧力変化抑制気筒数可変エンジンの出力を第 1 電動機および伝達部材へ分配する差動機構と、駆動輪に動力伝達可能とされた第 2 電動機とを備えた車両用駆動装置の制御装置であって、(a) 前記差動機構に備えられ、該差動機構を差動作用が働く差動状態と該差動作用をしないロック状態とに選択的に切り換えるための係合装置と、(b) 車両の回生時に前記差動機構が差動状態とロック状態との何れに切り換えられているかに基づいて、前記筒内圧力変化抑制気筒数可変エンジンにおける筒内圧力変化抑制状態を制御する回生時筒内圧力変化抑制状態制御手段とを、含むことにある。